議会事業評価の結果

本年度は、決算審査の対象となる事業の中から複数の事業を様々な視点から選定し評価を行いました。また、その評価結果は、10月に市長へ提言として報告しました。
事業評価に関する詳細な内容は、ホームページでご確認ください。



総務委員会

1. STATION Ai活用事業（企画課）

事業の内容	行政運営に係る計画の推進や質的改善を図るために、STATION Ai を最大限に活用した情報収集を行う。また、地域課題や行政課題、市内事業者の課題を、STATION Ai に入居しているスタートアップ企業と共に解決し、市民サービスの向上と業務の効率化等を図る。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①速やかに、庁内の行政課題を幅広く把握し、課題解決による効果や実現可能性を踏まえて、取り組む課題に優先順位をつけ、解決すべき内容を具体化した上で、適切な企業とのマッチングに繋げること。 ②令和9年度までに、地域課題の解決にどの程度結びついたかなど事業の成果を把握するため、担当課との協議回数や実証実験の回数、事業化に至った件数などの成果指標（KPI）を設定すること。 ③令和9年度までに、実証実験や協議、事業化に至らなかった要因を分析することで、課題整理を行い、その課題を情報共有する仕組みを構築すること。



2. 人事管理事務（人事課）

事業の内容	社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、新たな変革にチャレンジできる組織作りに努める。また、能力と実績が適正に評価され、職務に意欲的に取組むことができる人事制度の確立に努めるとともに、心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進める。
事業評価（方向性）	おおむね適正である（拡充する）
事業への提言	①令和9年度までにアンケート結果だけでなく、「休職者数」「離職率」「時間外勤務時間」などの客観的なデータを成果指標として設定すること。また、令和8年度に見直した伴走支援（生成AI活用やグループコーチング等）の効果を検証し、成果指標に基づき、効果的な職場環境改善に繋がっているか分析すること。 ②次回アンケートを実施するまでに、アンケート未回答の要因を分析し、回答率向上の取組みを行うこと。 ③速やかに、職員の意欲向上に取組み、働きやすい職場環境の整備を行うため、課題に対して改善した事例や職員の活動事例など良い事例を庁内に展開する仕組みを整えること。

